



片貝川上流域に群生する巨大な「洞杉」。
数百年もの長きにわたって、
魚津のまちを見守り続けています。

県議会議員として送り出して
いただいてから、もう三度目の
冬を迎えています。私自身、昨
年は激甚化する自然災害への対
応、さらに人口減少や少子化が
進むなかで地域の産業や教育、
交通をどう守っていくのか、さ
まざまな課題の解決に向けて奔
走する一年となりました。

県政を振り返ってみますと、
今後5年間の指針となる新たな
総合計画が取りまとめられまし
た。県立高校の再編については、
教育の質の確保と地域との関わ
りを両立するため、さらなる議
論が必要とのことから、第一期
の再編が2029年に延期。ま
た、公共交通の再編についても、
富山地方鉄道の廃止はいったん
回避されたものの、行政と住民
が一体となって将来像を描く必
要性が示されました。

午年生まれ、年男となる本年
も、地域の声を県として国へと
つなぎ、将来世代に責任を持っ
た県政運営に真摯に取り組んで
いくことを改めて誓います。引
き続き、皆様のご指導をよろし
くお願いいたします。



寺口ともゆきが
地域のキーパーソンに
聞く！

みんなの
Uoooz!!
vol.4



濱住 博之（はまずみ・ひろゆき）さん

魚津漁業協同組合 代表理事組合長。水産品の販売・加工のほか食堂事業、近年では養殖事業を通じた「海業」の推進にも取り組むなど、地域の水産業発展のために尽力している。

「富山深層水コンブ」の ブランディングで海業を活性化！

——最近、濱住さんが取り組んでいるプロジェクトは？

2022年度から、魚津漁協が旗振り役になって、入善町・朝日町の漁協とともに「にいがわ圏海藻による環境保全活動と産業化プロジェクト」をスタートしました。来年度からは、富山県立大学との共同研究もスタートする予定です。

——私も県議会でガゴメコンブの養殖について質問をしたことがあり、注目していました。

きっかけは、県の水産研究所の松村航博士が、海洋深層水を使ったガゴメコンブの養殖に成功したこと。ガゴメコンブは一般的なコンブに比べて粘り気が強く、メタボ抑制効果も高いといわれています。そうした機能性を実証実験で明らかにして付加価値を高め、「富山深層水コンブ」としてブランド化していく。さらに、養殖で育てたコンブを商品化して、自分たちで直

売するのがゴール。まずは、目指せ収穫量1トンですね。

——漁業者だけでなく、加工業者や販売業者も潤うし、地域ににぎわいや雇用も生まれる。まさに水産庁が目指す「海業※」の推進にもつながる話ですね。

そう、一番重要なのは、魚津漁協だけでなく新川エリア全体で取り組んで、その成果を地域に還元していくこと。漁業者が意欲を持てるような事業に育てるべく頑張っています。

——期待しています。私も全力で応援します！！



※海業（うみぎょう）
漁港や漁村が持つ、海や水産物などの資源、景観・文化・食・体験といった魅力を活用し、漁業と連携しながら地域のにぎわいや雇用を創出していく事業。

日々の活動をお届け ともゆきがゆく！

※掲載したものは、すべて2025年に行った活動です。



6/6
北陸電力
志賀原子力発電所 視察

安全対策や設備維持、能登半島地震の復旧に真摯に取り組む姿を目の当たりに。



6/27
大阪・関西万博
富山県特設ブース

コンセプトは「寿司といえば、富山」の体感。職人さんによる伝統工芸の実演も。



4/27
魚津しんきろうマラソン

一緒に走った仲間たちと沿道からの温かい声援のおかげで、なんとか完走！



8/1-3, 7
じゃんとこい
魚津まつり

たてもんに UO! JAZZ、せり込み蝶六と地元・経田の七夕まつりにフル参戦！



5/30
日本理化学工業 視察

なんと全従業員の約7割が障害を持つ方。当たり前にも働ける環境が素晴らしい。



8/6
第八珠の浦丸
出航セレモニー

航海の安全と大漁を祈願して、僭越ながら乾杯の発声をさせていただきました。

魚津・新川の
魅力や情報を発信！



Instagram : terra_0331



寺口 智之 てらぐち ともゆき

1978年 富山県魚津市生まれ 富山県立魚津高等学校 明治学院大学経済学部 卒業
大学卒業後、写真スタジオ勤務を経てカメラマンとして活動。2011年の東日本大震災を機に魚津にUターン。魚津商工会議所に8年間勤務し、「魚津まつり」などのイベントや外郭団体事務を担当する。2020年に退所し、魚津市議会議員として活動。2023年、富山県議会議員に初当選。

SNSも
日々更新中！



teraguchitomoyuki2020



terra_0331

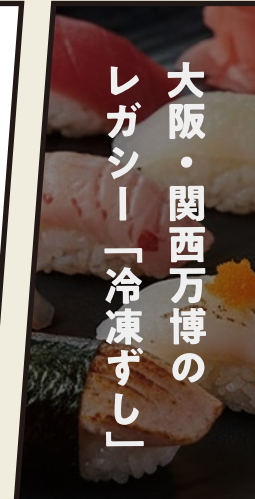


質問後、第1期の設置は1年延期され2029年に。早急に具体的な統合案を示すべき！

- Q** すべての県立高校を再構築するにあたって、どのような工夫や取り組みを行うのか。また、第1期（2028年）として予定されている5つの学校は、具体的にどのような姿を想定しているのか。
- A** 現在の各高校の特色や教育内容に着目し、それらを発展させながら組み合わせ、再構築することを基本としたい。第1期は、「グローバル」「情報教育」「誰一人取り残さない教育」などの観点から、これまでにない新たな取り組みの実施や魅力の創出などが必要と考えている。（広島教育長）

- Q** 再編統合により工業高校の空白地域が生じれば、特に製造業の人材確保が困難となり、産業の低迷を招く可能性も考えられるが、所見を問う。
- A** 工業高校については「実践ハイスクール」として東西各1校配置する。このほか特定分野を重点的に学べる「未来探求ハイスクール」として、普通系学科と併設することも考えている。（広島教育長）

新時代とやまハイスクール構想
現在のすべての県立高校（全日制／38校）を再構築。「総合選択」「プログレス」「STEAM」「グローバル」「未来探求」など7つの類型に分け、2038年までに20校程度を新設する構想。



職人の技と冷凍技術の融合 小泉進次郎前農水大臣も絶賛！

- Q** 大阪・関西万博の富山県ブースで展示した映像や冷凍ずしは、本県の魅力を国内外に発信する大きな資産となり得ると考えるが、これらを今後どのように有効活用していくのか。
- A** 冷凍ずしのクオリティの高さを賞賛する声が相次ぎ、その可能性を多くの人に認識させたと感じている。ご提案のとおり、万博での経験や成果を一過性のものに終わらせることなく、本県への観光誘客、また関係人口の拡大へとつなげていきたい。（新田知事）



先人の想いと伝統を受け継ぎ 祭りを未来につなげるために

- Q** 魚津のタテモン行事をはじめ県内の曳山等は、2016年のユネスコ無形文化遺産の登録から10周年の節目を迎える。県として記念行事等の実施を検討できないか。
- A** 10周年という区切りは、各地域の取り組みや成果を振り返るとともに、曳山行事を次世代に保存・継承していく機運を高める契機となる。記念行事等については、保存会や地元市などと連携しながら一体となった取り組みにしていくことが重要だと考える。（広島教育長）



数十年に一度の大事業 “夢の道路”は 実現するか!?

- Q** これまでも総合計画の長期構想として位置付けているが、今後策定する新たな総合計画においても、引き続き継続して推進すべきと考えるが、所見を問う。
- A** 実現すれば、長野県や首都圏とのアクセスが向上し、物流の効率化、産業・観光振興などに寄与する夢のある構想である。総合計画にも「近隣県との交流や連携強化の取組みの推進」として盛り込んでいるが、さらに記述ができないか検討してまいりたい。（新田知事）

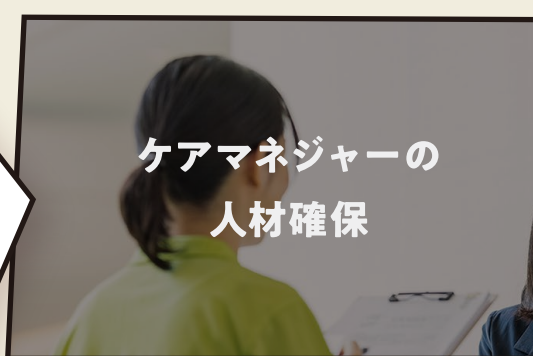
令和7年6月・9月定例会 議会質問ダイジェスト

2025年6月に13問、9月に13問行った議会質問の中から、
注目のトピックをダイジェストでお届け！

「これでいいんやろうか？」 悩める現場の声を届けたい

- Q** 制度の運用が市町村等で異なる場合があり不安、という声を聞いた。県が協議会などを設置し連携を図ることが必要だと考えるが、所見を問う。
- A** 現在県では、協議会の設置に向けて、社会福祉協議会や市町村の関係者などと具体的な内容について調整を進めている。今後、本協議会を設置し、情報共有やさらなる連携強化を図り、担い手の育成など課題の解決に向けた施策が推進できるよう努める。（有賀厚生部長）

成年後見制度
認知症・知的障害・精神障害のある方など、判断能力が不十分な人の財産管理や身上監護を、成年後見人等が行う仕組み。



質問のきっかけは、資格を取ると給料が下がる場合がある、という矛盾でした

- Q** ケアマネジャーのなり手不足や離職が深刻化するなか、業務負担の軽減化や処遇改善に関して県独自の支援策が必要と考えるが、所見を問う。
- A** 業務負担軽減のため、ケアプランデータ連携システムの導入支援を行っている。また令和6年度の介護報酬改定では、介護保険施設等で働くケアマネジャーへの（報酬の）配分も可能となっている。引き続き個別相談や説明会を通じて、あらゆる職員の処遇改善に努めてまいりたい。（有賀厚生部長）



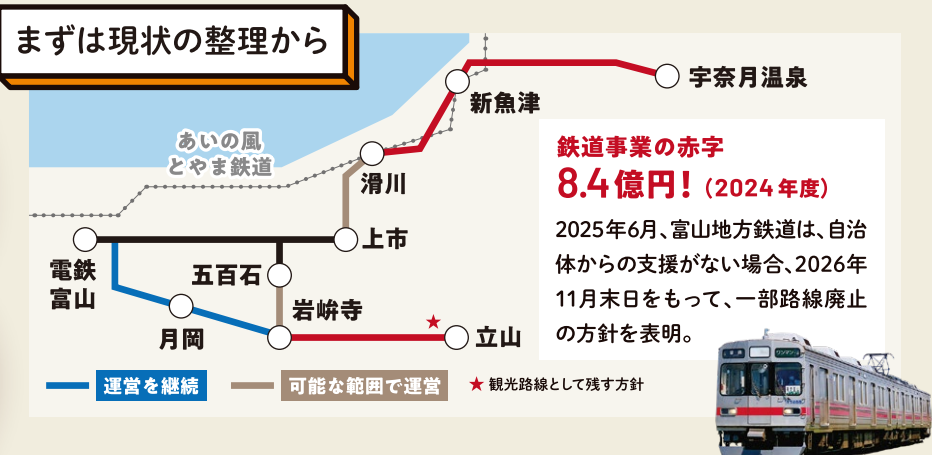
鉄道王国とやまに激震 今こそ腹を割った話し合いを！

- Q** 県と沿線自治体、富山地方鉄道の間で、立場の違いから温度差が生じているのではとの見方もあるが、信頼関係を保ちながら調整が進められているのか。
- A** それぞれの立場においてさまざまな見解が出ていることは認識しているが、県はもとより、沿線自治体、交通事業者も、持続可能で最適な地域交通サービスの実現を目指していくという思いは共通のものと考えている。この鉄道路線が持続できるよう、一生懸命に知恵を絞っていききたい。（新田知事）

地域の課題をざっくり解説！

おしえて！
寺ロギン
第2回

富山地方鉄道の一部路線廃止



滑川 ↔ 宇奈月温泉間はどうなる!?

- 2025年7月 県と沿線自治体が、本線分科会で議論をスタート 富山市も支援の方向！
- ↓
- 11月 地鉄が廃止判断の先送りを決定 とりあえず2026年度は廃止を回避！
- ↓
- 2026年2月～ 調査資料をもとに具体的な支援策を検討していく

あいの風も交えた議論を！

2026年度の支援は決まったものの、金額や具体的な内容については棚上げされたまま。魚津市においては並行在来線との関係も課題。「各自治体での調整が必要」との声もあるが、県が主導し、あいの風とやま鉄道を交えた早急な議論を！

